

平成27年度主要港督励巡視結果報告(船内)

報告者：督励巡視団員（船内班）野澤 昌之

1. 横浜港 平成27年7月28日(火)

- ◎ 本牧 B-1 在来船 本船名：ALICIA 8
作業内容： クレーン段取り中
- ◎ 本牧 C-9 コンテナ船 本船名：OSG ADMIRAL
作業内容： コンテナ荷役

良かった点

- ・熱中症対策がきちんとできていた。(クーラーボックス、熱中症指数計) (両船とも)
- ・KYボードの中身が充実していた。(KYボードの注意事項の実践ができていた。) (両船とも)
- ・KYボードが皆の見える位置に掲示していた。 (両船とも)
- ・カラーコーンできちんと通路の確保ができていた。 (ALICIA 8)
- ・合図については三者間で無線機を使用し、笛を併用しており良好であった。 (ALICIA 8)
- ・本船突起物にサーレアテープ等で明確に危険場所の「見える化」ができていた。 (両船とも)

指摘事項及び改善事項

特に無し。

質問事項

- ・在来船(ALICIA 8)で、コーミング昇降に、船の簡易昇降台を使用していましたが、下の方を固定していたため、他の場所に移る際どのようにしているのですか？
- ・ガントリークレーンオペレーターがヘルメットを被っていましたが、安全上必要でしょうか？
- ・在来船(ALICIA 8)のフックの外れ止めがないので、エゼント側より要請してもらいたい。

回答

- ・全体が見える場所なので、いいとは思いますが、無い場合は、当社から昇降台を持っていくようにしています。
- ・ガントリークレーンに搭乗する際は、ヘルメットを必ず被るよう指導しておりますが、運転中に被りなさいという指導はしておりません。
- ・本船のフックの外れ止めに関しては、船社のほうに申し入れをしておきます。

2. 名古屋港 平成27年7月29日(水)

- ◎ 金城埠頭 W60 在来船 本船名：アドバンスペスカドレス
作業内容： 2口作業 #1、#2とも、上屋より建機パーツ 積荷役
- ◎ 金城埠頭 W62 在来船 本船名：アトラスシャイン
作業内容： 舳よりパイプ 積荷役

良かった点

- ・突起物にサーレアテープ使用。 (アドバンスペスカドレス)
- ・KYボードに作業者全員がサインをしていた。 (アドバンスペスカドレス)
- ・ジャコップにセーフティブロックを使用。 (アトラスシャイン)
- ・玉外しに、ハーケンを使用。 (アトラスシャイン)
- ・整理整頓 良好。 (両船とも)
- ・掲示物、立ち入り禁止表示等 良好。 (両船とも)
- ・各社 ロングTシャツを導入し、熱中症対策の工夫がみられた。 (両船とも)

指摘事項及び改善事項

- ・停止中フォークリフトのツメ先が浮いていた。 (アドバンスペスカドレス)
- ・小走りで走る作業者がいた。 (アドバンスペスカドレス)
- ・本船フックに外し止めがないので、対策が必要。 (アドバンスペスカドレス)
- ・船内で荷下作業がみられた。 (アドバンスペスカドレス)
- ・ヒブラインを使用していないので、注意是正した。 (アドバンスペスカドレス)

回答

- ・ツメ先につきましては、指導しておきます。
- ・落ち着いた作業行動をするよう、指導いたします。
- ・本船のフックの外れ止めに関しては、船社のほうに申し入れをしておきます。
- ・吊り荷下の完全退避を指導してまいります。
- ・朝のミーティング等で、危険予知等をしっかり指導しておきます。

質問事項

- ・フォークリフト走行後に、指差ししていた。指導方法は？
- ・3箇所同時に笛で合図していた。間違えないか？
- ・シャックルに割りピンを使っているか？

回答

- ・名古屋支部としては、安全確認をしてから指差呼称を行うように指導しております。
- ・ギヤングによって、笛を変えたりはしないが、クレーンマン、玉掛け者が声掛け等で確認しております。
- ・シャックルは、工具を使用し、ねじ込み式でやっております。

3. 神戸港 平成27年7月30日(木)

◎ 摩耶埠頭 C 在来船 本船名：SKY GLORY

作業内容： 2口作業 #1 舳よりワイヤーロード 積荷役
#2 舳よりスチールバー 積荷役

◎ 六甲 TU 在来船 本船名：SKY HIGH SW

作業内容： 上屋より建機パーツ 積荷役

良かった点

- ・合図、指差呼称、見える化等 良好。(両船とも)
- ・KYボードと舷門表がセットになっていて、便利。(両船とも)
- ・ヘルメットに顔写真入りの資格証を貼付している。
- ・本船荷役機器確認書、クレーン点検時期等明記と本船サインがある。(SKY HIGH SW)

指摘事項及び改善事項

- ・ハッチ合図者(デッキマン)が安全带を使用していなかったため注意是正した。

回答

- ・指導不足です。朝のミーティング等で今後しっかり指導いたします。

質問事項

- ・退避場所の指導方法は？
- ・フォークリフトのアタッチメント固定について。
- ・ジャコップでのセーフティブロック等使用してはどうか？
- ・シャツが統一されていなかったが、どの様に取り決めているか？
- ・デッキ通路で貨物横行下の立入禁止措置を検討されてはどうか？

回答

- ・今後も退避場所の指導は、してまいります。
- ・今後、貨物に見合ったアタッチメントを使用し固定するよう、指導します。
- ・安全委員会等で、各社に検討を周知いたします。
- ・当該店社を含め、指導していきます。
- ・安全委員会、各社ともに立ち入り禁止の指導はしていませんが、今後各店社に注意喚起を促すような看板等の設置を指導します。

4. 博多港 平成27年7月31日(金)

◎ 箱崎埠頭 7岸 内航RORO船 本船名：ひまわり5

作業内容： 自動車の揚げ荷役

◎ 香椎パークポートコンテナターミナル 管理棟見学

良かった点

- ・笛及び誘導者により、明確に合図が行われ、良好であった。
- ・点滅ライトが目立って良かった。
- ・スピード、車間距離等、作業員へのルール周知がしっかりしていて良かった。
- ・熱中症対策として、温度計の設置及び作業員に近い位置に水分を準備していた。

指摘事項及び改善事項

特に無し。

質問事項

- ・デッキパネルの上げ下げが可能な本船での作業はあるのか？あるならば、移動したあとの固定の確認はどのようにされているか？
- ・スリップ防止の観点から、ランプの角度の基準はどのように決められているのか？
- ・車両横持ち時、スロープに入るとき、人によって指差しに差があったが、どのような指導をしているのか？
- ・温度計はよかったが、船内は湿度が高いので、温湿度計の導入を検討してはどうか？
- ・KYボードの内容を充実させてはどうか？（対策を細部まで具体的に）
- ・船内のラッシングレール（リング）での転倒防止について何か注意指導しているのか？
- ・誘導者が運転手の死角を見ていない。立ち位置の指導どうしているのか？

回答

- ・本船チーフ、フォアマンに目視確認を要請しています。
- ・各社がランプウェイ前に誘導者を立て、確認しています。
- ・スロープに入る前に一旦停止し。指差呼称するよう指導しています。
- ・今後、導入を検討いたします。
- ・今後は各社に改善をするように指導します。
- ・作業前ミーティング等で、足元の確認を徹底するよう指導しています。
- ・作業前のKYミーティングで指導しています。